

観光ガイド通信



2023.12.1 NO.15

(公社)上田地域シルバー人材センター 観光ガイド班

元気で講習会 「大法寺」にて開催！

13名が参加

11月16日(木)大法寺にて、「元気で講習会」が開催されました。
松本淳英 副ご住職に講師をしていただき、観音堂～国宝三重塔を約1時間半で巡りました。
テキストや本には載っていないお話もお聞きすることができました。一部ご紹介します。



○観音堂(重要文化財 十一面観音像、普賢菩薩像、須弥壇、厨子 など)

十一面観音像・・今は消えているが、元々目が描かれていた。頭上の十一面は、後から付けた。差し込んだ跡が見える。それまでは、十一面観音像ではなく正観音像だった。左手の水差しは昭和時代に付けた。

○天皇家の菊の御紋は、元々天台宗の紋だった。少し、違いがあるのだが、同じに見えるところがある。

○三重塔は、聖徳太子が2番目に作った大阪四天王寺と同じ職人さんたちの手によるもの。奈良や京都の建造物と同じように作られているため非常に美しいということから「国宝」の価値がある。

今年、三重塔国宝指定70周年の記念の年に当たる。

講習会で身についた事柄は、今後のガイド活動で必ず役立つことでしょう。

改めて、上田・青木地区は文化財の宝庫だと感じました。この地域の魅力を、訪れる多くの方々に味わっていただきたいと再認識した講習会でした。



右端が、講師を務めてくださった「大法寺」松本副ご住職

大切です！

受注ガイドを担当する際の重要事項

～流れを再確認しましょう～



観光ガイド班員として、お客様の為に尽力いただき日頃は大変ありがとうございます。ガイドとお客様の安全のため、また、トラブルを避けスムーズなガイドを行うため、守って頂きたい事項の再確認をよろしくお願いいたします。

私たちは、「上田地域シルバー人材センターの観光ガイド班」の一員です。ガイド班で決まっている原則を守った上で、臨機応変に現場対応をお願いいたします。

① ガイド事前の準備「添乗員と事前打ち合わせ」を忘れずに

「書類セット①受注票 ②就業報告書 ③封筒 ④領収書」は、事務局

大田さんがガイドの1週間前位に作成完了しています。

→事務局に取りに行く(目安は5日前)

→添乗員さんまたは発注者と電話で打ち合わせ(目安は3日前)

② ガイド当日 バスのお客様との待ち合わせ場所は「案内図前」

有料駐車場のバスまでお迎えに行くことはやめましょう。

お客様との待ち合わせ場所は、「上田城跡公園駐車場 案内図前」

です。私たちガイドは、案内図の前で待機します。

「責任範囲の明確化」の為です。始めと終わりの挨拶は、「案内図前」

あたりで行ってください。

(もし、誘導中に事故にあったら、責任問題になってしまいます。)

事前の電話打ち合わせの時にこのようにご案内してください。「バスを降りたら、信号のある横断歩道を渡り、(必要な方は)トイレを済ませてから、案内図前までお気を付けてお越してください。」

③ ガイド当日 案内するお客様を間違えないように確認を

当日は、お客さまをお迎えしたら添乗員さんまたは発注者と挨拶して、本人であることを確認する。また、帰りの出発時間をお客さまもガイドもしっかり確認してから、スタートする。(時間厳守と安全が優先)

「上田に来て良かった！」とお客さまに満足してもらえるガイドをこれからも
心がけましょう！

★11月の受注ガイドは32件、ガイドは49名でした★

★新年の観光ガイド班活動予定★

ガイド活動について

- ★受注ガイド 冬期も行います。
- ★上田城内常駐ボランティアガイド再開は、令和6年4月13日(土)予定。
観光会館においてある「観光ガイド安全対策チェックシート」は、再開後は、使用しない予定です。
ご自身の健康管理は今後もお願いします。
- ★体調不良等で休む場合は、当日のもうひとりのメンバーと、「観光協会 71-6074」へ自分で連絡する。
(看板が出たままですとトラブルになるため。)
- ★「ボランティアガイドの記録」は、今後も記入をお願いします。



「ボランティアガイドの記録」から

	ガイド人数	対応お客様人数
4月…15日から	8名	74名
5月…	11名	105名
6月…	14名	130名
7月…	11名	105名
8月…	夏季休業	
9月…9日から	12名	140名
10月…	18名	220名
11月…	9名	78名
4月から11月までの合計	→83名	852名



暑い日も寒い日もあったことでしょう。素晴らしい地域貢献に、拍手です👏

Tips NO.5

上田城発掘調査のガイド ご報告

11月4日(土)に4名のガイド班員が、和根崎 剛さんの「発掘調査の説明会」補助を担当してきました。10時、11時、13時(各1時間)合計で300人以上の方が参加され、関心の高さを感じられました。和根崎さんは、「今後もシルバー人材センターと協力しながら取り組んでいきたいのでよろしく。」とおっしゃってくださいました。発掘調査に携わっている方々もシルバーの会員さんでした。



当日は「紅葉まつり」開催中で、人出が多く、現地説明会も人だかりが出来ました。

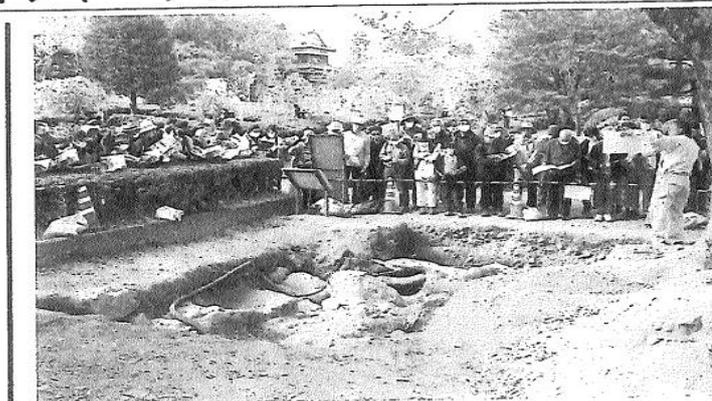
冠塀台石垣(武者溜まりの西側)

根固めが見つかった。丸いのは栗石、緑色凝灰岩も見つかった。これらは基礎工事の跡で「絵図の検証」調査での成果と言える。

上の台 櫓(北東隅)の礎石そばの発掘

発掘の地表近くには、丸い石(後の時代)その下には、江戸時代の石が見つかった。また、一時、民家が建っていたとのこと。

東信ジャーナル R5年11月14日(火曜日)の記事です↓



三十間堀の発掘現場の説明

史跡上田城跡発掘調査 現地説明会に人垣の盛況

市 田
教 上

田城跡整備担当の和根崎剛さんと文化財保護担当の渡邊彩佳さんが説明。

上田市教育委員会は、このほど、史跡上田城跡発掘調査の現地説明会を開き、大勢の参加があった。

説明会では旧市民会館駐車場付近にあった「武者溜り」周辺で「二の丸橋近くの二の丸東虎口櫓台石垣、旧駐車場の北側隅から博物館側にあった三十間堀や「藤(しとみ)塀台石垣、旧駐車場西側の「冠塀台石垣、本丸北東にあった2棟の隅櫓のうち南側の櫓の位置について調査の成果を、上

3回の説明会のうち、午前中の説明会には80人ほどの大勢が集まり、発掘現場を幾重にも取り囲む人垣ができた。発掘調査の成果として▽三十間堀の位置がある程度確定できた▽冠塀台石垣の痕跡が確認できた▽本丸櫓では真柱を建てた礎石の根固めが見えた▽上田泥流層に含まれる軽石が冠塀台石垣の根固め、櫓の礎石の根固めに使われ、上田城ならではの築城方法。

発掘した地点には「根固め」などの表示を施して説明。参加者から熱心な質問もあり、関心の高さがうかがえた。



今年にはコロナが5類に移行して以降、「コロナ前のような旅行が、徐々に再開しました。明るい兆しが見えます。皆様、冬は特に体調に気をつけて、良いお年をお迎えください。